フィリピン

国土交通省

1. 概要

- 国土：約30万km2（日本の約0.8 倍）
  - 緑地面積は約10万8千km2で、そのうち森林が約7万2 千km2、その他緑地が約3万6 千km2である
- 人口：約8857 万人

2. 特徴

- 地理・気候
  - フィリピンの降水量は年間965ミリから4,064ミリと幅がある
    - バギオ市・東サマール・東スリガオは最も降水量が多い地域である。一方、南コタバト州は最も降水量が少ない地域である。コタバトにあるセントジェネラルサントス市の年間平均降水量は978ミリである
- 経済情勢
  - GDPは約1,674億米ドル(約16兆円)
    - 製造業が24%で最も多く、卸売・小売・修理業(21%)、ホテル・レストラン業(13%)、民間教育産業(12%)
- 水資源管理制度
  - 大統領令1067号（水法）
    - 全ての水資源は国家に帰属する
    - 全ての水資源に関して所有権を設定することは出来ない
  - 水資源危機対策法
    - 政府は供給、分配、財務、水道施設の民営化、流域の保全保護、全ての水資源機構における深刻な賄賂や汚職事件を含む漏水や盗水などの水資源危機に関する問題に際限無く取り組む
  - 中期国家開発計画
  - 国家総合的水資源管理計画の枠組
- 流域管理
  - 統合的水域管理開発マスタープラン
    - 利害関係者：利害関係者は貧困の削減、利害関係者の参加、プロジェクト所有権、発言権そして、表明を実現する役割を果たす
    - 公共団体：公共団体は効果的な水資源統治ために重要な要素を提起する。また、人的資源及び財政資源の構築・強化は河川流域管理を論理上持続可能的で反応がよく、効果的なものにする
    - 環境：生物多様性の保全

TWENTY (20) MAJOR RIVER BASINS IN THE PHILIPPINES

	River Basin	Area (sq.km)
1	Abulug	3,372.00
2	Abra	5,125.00
3	Cagayan	23,649.00
4	Agno	5,952.00
5	Pampanga	9,759.00
6	Pasig-Laguna	4,678.00
7	Bicol	3,771.00
8	Panay	1,943.00
9	Jalaur	1,503.00
10	Ilog-Hilabangan	1,945.00
11	Agusan	10,921.00
12	Tagoloan	1,704.00
13	Cagayan de Oro	1,521.00
14	Agus	1,645.00
15	Tagum Libuganon	3,064.00
16	Mindanao	23,169.00
17	Davao	1,623.00
18	Buayan-Malungan	1,434.00
19	Amnay-Patrick[1]	466.00
20	Iloilo (Tigum-Aganan)[1]	272.00
	Total	109,416.00

国家水資源委員会第4報告書「フィリピンの主要河川」1976年

フィリピンの水に関する主な動き

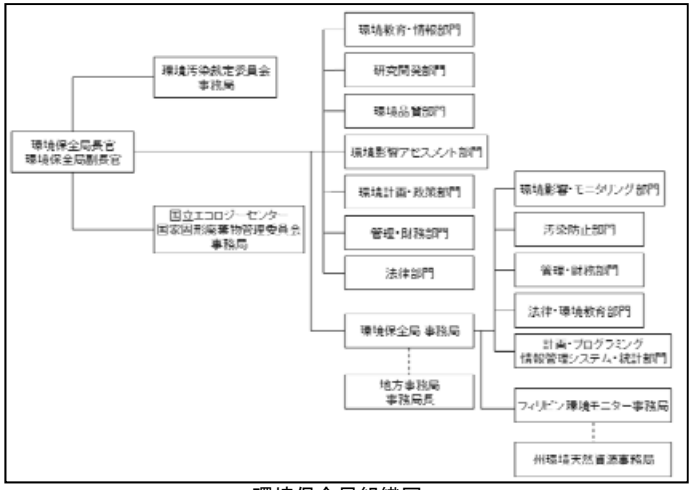
国土交通省

3. 上下水道事業

- 上下水道システムは半民営化されており、国家灌漑公社の水供給システムは以下のサービスに区分することが出来る
  - 中央配水システム：主に表流水から取水
  - 地域ネットワーク：僻地や表流水供給システムである中央配水システムに接続されて

4. 水に関する行政機関

- 環境天然資源省
  - 流域管理
- 環境保全局
  - 国内の水質保全管理
- 国家水資源委員会
  - 水資源に関する開発及び規制されている水域の調整水供給の規制及び、問題や対立を解決する国の水資源に関する歳出予算・利用・開発・制御・保全・保護を含む事業計画の承認
- 厚生省
  - 公衆衛生法規の実施に責任を負う飲料水質の測定と公衆衛生設備付の建物に対する規制



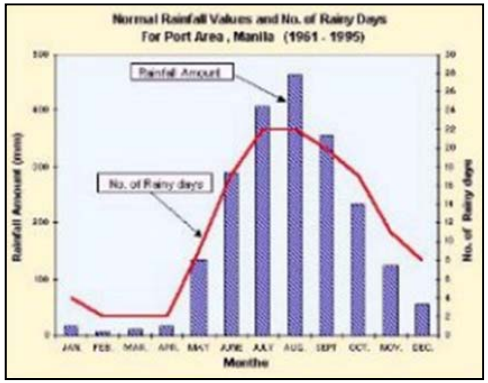
環境保全局組織図

5. 水質管理

- 水質管理に関する取組
  - 一般廃棄物管理法と浄化水法を完全遂行
  - 202の未分類一級河川水域の分類
  - “川を救おうプログラム”実施による河川の水質管理改善努力
  - 主要産業において工業排水モニタリング実施
  - マニラ首都圏と13の地域から320の全ての地方自治（バランガイ）の飲料水質を支援するために“水道水ウォッチプログラム”を継続的に実施
  - “ビーチエコウォッチプログラム”海辺の水質情報には地域住民や外国人観光客が頻繁に訪れている

6. 水資源管理に関する取組

- 渇水対策
  - フィリピン国家行動計画
    - 水資源管理特に食糧安全保障に影響が及ぶ重要水域地域の季節的な乾燥地帯の持続的な管理に焦点が合わせられている
    - エルニーニョ現象の大統領調査特別委員会を創設
    - 土壌の劣化や干ばつの影響の緩和に関する根本的な要因や重要な問題に対処
    - 「農漁業近代化法」「均衡肥沃化戦略」「国家統合保全地域システム」「環境影響評価」



マニラの年間平均降水量及び降水日